



# にじいろレター



No. 11

今回は、2月1日に開設した「ストーマ看護外来」と2月19日に移転した「外来化学療法室」、「抗がん剤とグレープフルーツ」の看護のポイントを紹介します。

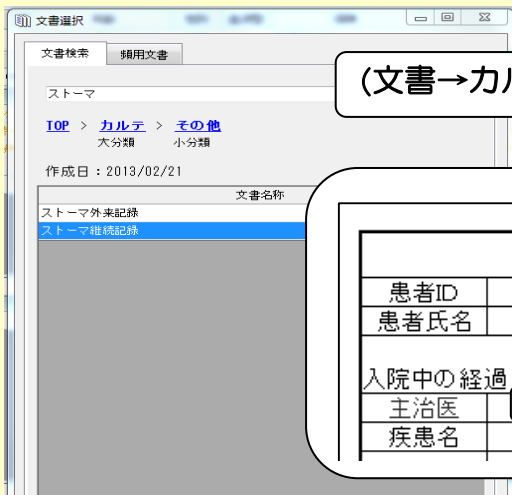
## ストーマ看護外来を始めました



ストーマ看護外来は、ストーマ保有者がより快適な生活を送ることができるよう、個別的に専門的なケアを継続して行います。

退院後の定期観察だけでなく、セルフケア指導の継続、体型や生活の変化に応じた装具選択やケア、新しい装具の情報提供、術前オリエンテーション、合併症が起きてしまった場合の対応の指導などを行っています。

より質の高い看護を提供するには、病棟とストーマ看護外来との連携が必要です。患者退院日までに『**ストーマ継続記録**』の記載をお願い致します。退院後初回外来は、ストーマ看護外来も受診できるようご協力をお願い致します。



(文書→カルテ→その他 の文書の中に入っています)

ストーマ継続記録			
患者ID	[REDACTED]	生年月日	[REDACTED] 記載
患者氏名	[REDACTED]	性別	[REDACTED] 記載
入院中の経過			
主治医	[REDACTED]	受け持ち看護師	[REDACTED]
疾患名	S状結腸穿孔		

★退院指導の時に、ストーマ看護外来の御案内もお願い致します。

★不安が強く患者が事前の顔合わせを希望しているなどございましたら、事前にご連絡いただければカンファレンスに参加することも可能です。

ストーマ看護外来問合せ先：望月 (PHS: 4190) 児玉 (PHS: 4376)

## 外来化学療法室の紹介

場 所： 仮設1階北病棟跡(1階北側郵便局前)

病床数： 20床： 14床の個室と6床室

ご案内： 入院から外来化学療法に移行される患者さんの事前オリエンテーション（外来化学療法室見学、日常生活指導）の看護コンサルテーションを承っております。  
※看護コンサルテーションの記載と外来化学療法室(内線:3201)へのお電話をお願い致します。

✿✿✿新たに個室の治療室を完備しました✿✿✿



## 認定看護師が伝える看護のワンポイント

平成24年9月ブラッシュアップ研修「抗がん剤の投与管理～食品との相互作用～」



✿抗がん剤とグレープフルーツ✿ がん化学療法看護認定看護師 三輪真砂子 (☎4475)

薬物は、薬物代謝酵素により代謝されます。ある抗がん剤は、薬物代謝酵素のひとつであるCYP3A4により、ある程度代謝を受け不活性化され、循環血液中に入る薬物量が少なくなります。しかし、薬物によっては、グレープフルーツ中のフラノクマリン類がCYP3A4を阻害するため、薬物が不活性化されず、循環血液中に入る薬物量が多くなり、体内濃度の指標となるAUCやCmaxが大幅に増加し、結果として薬物が効きすぎてしまう状況になります。これらの薬剤の代謝の仕組みにより、次にあげる抗がん剤は、グレープフルーツとの相互作用により抗がん剤が効きすぎて副作用が強く出ます。タキソール、タキソテル、エトポシド、グリベック、イリノテカン、エンドキサン、イホマイド、タモキシフェン、エクザール、オンコピンです。このため、患者さんの嗜好にグレープフルーツがないか確認しておきましょう。また、患者さんが市販の野菜ジュースや果物のジュースを購入する場合は、グレープフルーツが入っていないか確認して購入するよう説明しておきましょう。グレープフルーツの相互作用は長く持続し、3～7日間持続するとの報告もあります。相互作用の影響を解除するには、グレープフルーツの摂取を2、3日空けた方がよいとの考え方も示されています。

グレープフルーツと同じ作用を起こす果物《ぶたん(ポメロ)、スウィーティー(オロブランコ)、ダイダイ(ビターオレンジ)》も同様の注意が必要です。抗がん剤を安全に投与するためにも食品との相互作用がないか、添付文書で確認することを習慣づけましょう。